

2024年3月期 決算説明会 主な質疑応答

開催日時：2024年5月23日 本社（澁澤シティプレイス永代）にて

出席者：取締役社長 大隅 毅

取締役専務執行役員 倉谷 伸之

執行役員 経理部長 池田 覚

執行役員 総合企画部長 森山 宗樹

Q1：中期経営計画2026の戦略1「倉庫機能の差別化、バリューアップ」について

回答：定温定湿機能を備えた本牧倉庫を2024年10月に竣工予定。危険物倉庫は神戸市、茨木市で2024年3月に竣工済み、2025年3月に栃木県芳賀郡で竣工予定。

Q2：中期経営計画2026の戦略2「国内輸送ネットワーク機能の強化」について

回答：自社開発TMS（輸配送管理システム）の機能拡充により、配車効率や運行効率の向上を図るとともに、協力会社も利用可能なオープンシステムにより、運行管理や乗務員の労務管理を徹底していく。

Q3：運送の2024年問題への対応状況について

回答：グループの運送会社や協力会社の専属車庫の車両・乗務員への対応は出来ているものの、繁忙期などにスポットで依頼する車両・乗務員の管理が課題と認識している。今後は上述のネットワーク機能の強化等を行っていく。また、グループ会社である日正運輸のフェリー輸送や大宮通運の鉄道輸送の強みを活かして、トラック輸送からのモーダルシフトを更に推進していく。

Q4：中期経営計画2026の戦略2「海外におけるコールドチェーン物流の拡大」について

回答：香港の倉庫は一部冷蔵機能を備えており、日本から輸出された食品などを保管している。また、協力会社の冷蔵・冷凍倉庫も利用していることから、今後、取扱量が拡大した際には、自社保有も検討していく。フィリピン、ベトナムでは合弁相手や提携先が保有している冷蔵・冷凍倉庫を足掛かりとして、コールドチェーン物流を拡大していく。

Q5：国内におけるコールドチェーン物流の拡大について

回答：グループ会社で冷凍・冷蔵貨物の取扱いを行っているが、現時点では取扱量は少ない。今後は日本食材の輸出入拠点を拡充していくとともに、保冷車の活用等も検討していく。

Q6：中期経営計画 2026 の戦略 2「海外における域内物流ネットワークの拡充」について

回答：中国本土では拠点間輸送を拡大するため、上海・広州・深圳・武漢に続く新たな拠点の新設も検討していく。香港は上述のコールドチェーン物流、部品のミルクラン等のネットワークを拡充していく。ベトナムは持分法適用関連会社である VINAFCO 社の拠点を更に活用していく。

Q7：中期経営計画 2026 の成長投資「M&A や資本提携」の内容について

回答：国内外のネットワーク拡充や業域の拡大に向けて、幅広く M&A や資本提携を検討していく。

以 上